

当社証拠金及び制限値幅

2024年5月24日
フジミ証券株式会社
オンライントレード部

■大阪取引所(OSE) 取扱銘柄

5月28日～6月3日計算区域における当社必要証拠金、制限値幅は次のとおりです。

銘柄	倍率	当社必要証拠金	即時約定可能幅(DCB幅)※2			制限値幅 ※3		
			寄付板合わせ	ザラバ	引板合わせ	通常時	拡大1回目	拡大2回目
金(標準取引)	1,000倍	¥333,000	¥120	¥40	¥80	5%	10%	15%
金(ミニ取引)	100倍	¥33,300	¥120	¥40	¥80			
金限日取引	100倍	¥38,900	¥120	¥40	¥80			
銀	30,000倍	¥357,000	¥3.0	¥1.0	¥2.0	10%	20%	30%
白金(標準取引)	500倍	¥134,500	¥120	¥40	¥80			
白金(ミニ取引)	100倍	¥26,900	¥120	¥40	¥80			
白金限日取引	100倍	¥29,000	¥120	¥40	¥80	10%	15%	20%
パラジウム	3,000倍	¥978,000	¥90	¥30	¥60			
ゴムRSS3	5,000倍	¥93,500	¥15.0	¥5.0	¥10.0	10%	原則、取引の 中断・拡大はなし	
とうもろこし	50倍	¥83,000	¥750	¥250	¥500	8%		

■東京商品取引所(TOCOM) 取扱銘柄

5月28日～6月3日計算区域における当社必要証拠金、制限値幅は次のとおりです。

銘柄	倍率	当社必要証拠金	即時約定可能幅(DCB幅)※2			制限値幅 ※3		
			寄付板合わせ	ザラバ	引板合わせ	通常時	拡大1回目	拡大2回目
原油	50倍	¥303,000	¥3,000	¥1,000	¥2,000	30%	45%	60%
ガソリン	50倍	¥244,500				原則、取引の 中断・拡大はなし		
灯油	50倍	¥158,000						

※1 JSCCでは、証拠金の機能である”投資家を守る”ことを強化すべく、2023年11月6日(月)に、現行の「SPAN方式」から新証拠金計算方式である「AS-VaR方式」へ変更されました。

※2 DCB幅とは直近約定値段から即時約定可能な値幅です。寄板合わせにおける即時約定可能値幅制度(DCB)の導入。引板合わせにおける即時約定可能値幅制度(DCB)の拡大。限月毎にDCBが発動し、取引を30秒間中断します。中断中は板寄せ注文を受付けます。注文受付中は約定しません。祝日取引におけるDCB発動時の中断時間は、60秒間となります。

※3 OSEの貴金属市場は各商品の中心限月取引、TOCOMの原油は中心限月において制限値幅発動条件に合致した場合には取引が一時中断となり、制限値幅が拡大されます。

取引の中断は10分間です。立会終了直前20分間は、サーキットブレーカーの発動はありません。

祝日取引にも平日と同様にSCBが発動します。制限値幅を拡大した場合は、祝日翌営業日中立会終了時まで引き継がれます。

※4 当社必要証拠金の計算式は次の通りです：【(想定損失相当額×銘柄毎片建満玉枚数)×係数】